

新町小の主人公たち！

～好きを育み、得意をのばす～

令和8年6月2日
府中市立新町小学校
校長 西尾 克人
校長室だより 第5号

1年生も端末を使う



1年生も、自分のアカウントで入り、写真を撮る、オンラインで提出するなど活用が始まりました。

水泳指導も始まりました



5月から水泳指導が始まりました。熱中症には細心の注意を払い実施していきます。

説明文を読み解く

中高学年の説明文の学習は、まず、簡単な説明文で①「問い」と「答え」、②「初め、中、終わり」の意味段落など、読み解く方法を学び、長文の説明文で読み解き方を活用します。今、求められる知識や技能を活用する「深い学び」になります。学びが深まり、子供の活躍する姿が増えています。

3年生…国語「文様」から学び、「こまを楽しむ」へ

説明文「文様」を学ぶ



こまを楽しむ 段落を分ける



中学年では、文の構成が「サンドイッチ」に例えると、「パン、具材、パン」のように、「初め、中、まとめ」で構成されていることを学びます。

「文様」は、5段落で構成されていて、3つに分かれていることがすぐ分かります。また、問い「どのようなことを願う文

様があるのでしょうか。」という問いの答えを見つけます。問いは「初め」にあり、中の段落に答えがあり、「終わり」には、「このように～」という言葉がキーワードで文章のまとめになります。「文様」で学んだことを、「こまを楽しむ」で活用していきます。3つの構成に分ける、問い「どんなこまがあるか、どのような楽しみ方あるか」の答えを見つけていきます。「文章を読むことを楽しんでほしいな。」と思います。

5年生…国語 説明文「言葉の意味が分かること」 学習計画を立てる

やりたいことをシェアする



こんなふうに学習を進めるよ



主体的な学習にするためには「自分たちがこの文章でどんなふうに学びたいか」をシェアして、学習計画を立てていきます。どれだけ、説明文の学習を深めてきたかが問われます。まず、自分で考え、次に友達とシェアしていきまし

た。教師にも同じように伝え、教師は板書をしていきました。シェアが終わると板書ができあがっていきました。「文章の構成…意味段落」、「筆者の趣旨」、「事例を詳しく読む（問いと答え）」などが、出されました。高学年になると、「要旨」を捉えることが大事になります。「要旨」は、その文章で筆者が伝えたいことです。

どんな学習でも、教師がいつも誘導するのではなく、子供が見通しをもつための計画を立てたり、やってみたいと思う問いを見つけたりすることが、子供たちを主役にするのだと思います。